

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 2 月 26 日 (2015.2.26)

【公開番号】特開 2013-163783 (P2013-163783A)

【公開日】平成 25 年 8 月 22 日 (2013.8.22)

【年通号数】公開・登録公報 2013-045

【出願番号】特願 2012-28601 (P2012-28601)

【国際特許分類】

C 0 9 J 133/06 (2006.01)

C 0 9 J 133/14 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 K 3/16 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 133/06

C 0 9 J 133/14

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 7/02

C 0 9 K 3/16 1 0 4 D

C 0 9 K 3/16 1 0 7 D

C 0 9 K 3/16 1 0 8 D

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 8 日 (2015.1.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アルキル基の炭素数が C 1 ~ C 1 4 の (メタ) アクリル酸エステルモノマーを主成分とし、ヒドロキシル基を有する (メタ) アクリル系モノマーを共重合した (メタ) アクリル系ポリマーを含む粘着剤組成物であって、ポリエーテル化合物と、融点が 3 0 以上であり、温度が 3 0 で固体であるカチオンとアニオンを有するイオン性化合物とを含むことを特徴とする粘着剤組成物。

【請求項 2】

前記イオン性化合物が、アルカリ金属塩ではなく、前記カチオンが、4 級ピリジニウムカチオン、4 級イミダゾリウムカチオン、4 級アンモニウムカチオンからなる群から選択した 1 種であり、前記アニオンが、六フッ化リン酸塩 (PF_6^-)、チオシアン酸塩 (SCN^-)、アルキルベンゼンスルホン酸塩 ($\text{RC}_6\text{H}_4\text{SO}_3^-$)、過塩素酸塩 (ClO_4^-)、四フッ化ホウ酸塩 (BF_4^-) からなる群から選択した 1 種であることを特徴とする請求項 1 に記載の粘着剤組成物。

【請求項 3】

前記ポリエーテル化合物が、エチレンオキシド基を含有する化合物であり、前記 (メタ) アクリル系ポリマーと共重合しない、ポリアルキレングリコール又はポリアルキレングリコール誘導体であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の粘着剤組成物。

【請求項 4】

前記ポリエーテル化合物が、前記 (メタ) アクリル系ポリマーと共重合した重合性官能

基を有するポリエーテル化合物であり、その重合前において、ポリアルキレングリコールモノ(メタ)アクリル酸エステル、ポリアルキレングリコールジ(メタ)アクリル酸エステル、アルコキシポリアルキレングリコール(メタ)アクリル酸エステル、ポリアルキレングリコールモノアリルエーテル、ポリアルキレングリコールジアリルエーテル、アルコキシポリアルキレングリコールアリルエーテル、ポリアルキレングリコールモノビニルエーテル、ポリアルキレングリコールジビニルエーテル、アルコキシポリアルキレングリコールビニルエーテルからなる群から選択した1種であることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の粘着剤組成物。

【請求項5】

前記(メタ)アクリル系ポリマーの酸価が、1.0以下であることを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の粘着剤組成物。

【請求項6】

請求項1から5のいずれかに記載の粘着剤組成物を架橋してなる粘着剤層のゲル分率が95～100%であり、前記粘着剤層が、樹脂フィルムの片面または両面に形成してなることを特徴とする粘着フィルム。

【請求項7】

請求項1から5のいずれかに記載の粘着剤組成物を架橋してなる粘着剤層が、樹脂フィルムの片面に形成してなる表面保護フィルムであって、被着体から剥がして、被着体に汚染移行の無いことを特徴とする表面保護フィルム。

【請求項8】

偏光板の表面保護フィルムの用途として使用する、請求項7に記載の表面保護フィルム。

【請求項9】

前記樹脂フィルムの前記粘着剤層が形成された側とは反対面に、帯電防止および汚染防止処理がされていることを特徴とする請求項7または8に記載の表面保護フィルム。